

大阪経済記者クラブ会員各位

ブロックチェーンMeetUp in OSAKA 第1回「データ経済は民主化できるか？」の開催について

【問合せ】大阪商工会議所 総務広報部
広報企画担当(笹本) TEL : 06-6944-6324

大阪商工会議所は、一般財団法人関西情報センターとともに全3回シリーズで実施する「ブロックチェーンMeetUp in OSAKA」の第1回目を4月11日（木）に、大阪府中央区にあるコワーキングスペース billage OSAKA（運営：株式会社MJE [代表：大知昌幸氏]）および、サテライト会場として東京都渋谷区にあるブロックチェーン特化型コワーキングスペース「Neutrino」（運営：Omise Japan 株式会社 [代表：長谷川潤氏]）で開催する。

今回のテーマは、個人データ（ブラウザの閲覧履歴、交友関係、位置情報、決済情報等）の自己主権化と、その利活用を実現するデータ流通基盤としての「情報銀行」。これらの取り組みによって生まれる個人データを活用したビジネスチャンスについて考える。

- デジタルデータの資本価値が増大する中、2018年5月、EUでは、市民に個人データのコントロール権を取り戻すことを目的の一つとして、GDPR（EU一般データ保護規則）が施行された。
- これは、膨大な個人情報を収集し、収益を上げる米国のGAFAや中国のBAT (Baidu, Alibaba, Tencent) 等に対抗する取り組みといわれ、特定のプラットフォームに依存せず、個人データを流通させることにより、新たなデータ・エコシステムを志向するものでもある。
- 一方、今年6月に開催されるG20大阪サミットでは、安倍首相の号令のもと、世界的なデータ・ガバナンスに焦点を当てた議論が開始される見通しで、データの管理や利活用にますます関心が集まっている。
- こうした大きなトレンドを受けて、分散型のデータ管理を実現できるブロックチェーンに期待が集まり、特に個人IDの自己管理や、個人データへのアクセスコントロール、データのトレーサビリティ等の領域において、利活用に向けた研究開発がすすめられている。
- また、わが国においては、個人がアクセス権をコントロールできる状態でデータを預け、そのデータが生む運用益を直接的・間接的に享受できる「情報銀行」の取り組みが動き出そうとしている。
- そこで、第1回「ブロックチェーンMeetUp in OSAKA」では、「データ経済は民主化できるか？」をテーマに、まず、ベルリン在住で、インターネットの黎明期から現代のSNSやAIに至るデジタル社会環境を研究するメディア美学者の武邑光裕氏が、GDPRが牽引するデータ革命やフィンテック、分散元帳テクノロジーの核心、さらにEUで展開されるデータ・エコシステムの構築に向けた挑戦等について、基調講演を行う。
- 続いて、エストニア在住で、ブロックチェーン・スタートアップ「blockhive」のファウンダーであり、同国の電子政府推進にかかる委員等を務める日下光氏が、同社の取り組みを発表するとともに、電子国家エストニアの実態や、情報銀行の発展に向けた条件等を紹介する。その後、2人が、欧州におけるデータ経済の現状や、個人データの民主化によって生まれ得るイノベーションの可能性などについて討議する。

【第1回 データ経済は民主化できるか？】

1. 日 時：平成31年4月11日（木）16:00～20:00
2. 本 会 場：billage OSAKA（大阪市中央区本町4-2-12 東芝大阪ビル8階）
サテライト：Neutrino（東京都渋谷区桜丘町12-10 住友不動産渋谷インフォアスネックス1階）
3. 対 象：エンジニア、スタートアップ経営幹部、サービス開発者、法律家、法務担当者
4. 定 員：（本会場）120人（サテライト）80人
5. 主 催：大阪商工会議所、一般財団法人関西情報センター
6. 協 力：billage OSAKA（株式会社MJE）、Neutrino（Omise Japan 株式会社）
7. 後 援：経済産業省近畿経済産業局（予定）、総務省近畿総合通信局（予定）
8. 参加費：（Meetup）無料（交流会）1,000円
9. 申し込み：（本会場）<https://secure.kiis.or.jp/trn/20190411BCMOSAKA/>
（サテライト）<https://neutrino.compass.com/>
10. ハッシュタグ：#BCMOSAKA

11. プログラム：

基調講演 [16:00-17:00]

「データは誰のものか——GDPR以後のデータ民主化と自己主権経済」
メディア美学者、武邑塾塾長

武邑 光裕 氏

事例紹介 [17:00-17:30]

「電子国家エストニアとblockhiveのブロックチェーンによる取り組み」
blockhive OÜ Co-Founder

日下 光 氏

パネルディスカッション [17:40-18:25]

パネリスト：メディア美学者、武邑塾塾長

武邑 光裕 氏

blockhive OÜ Co-Founder

日下 光 氏

モデレーター：株式会社幻冬舎 編集本部

竹田 匡宏 氏

交流会 [18:45-19:45]

12. 講 師：

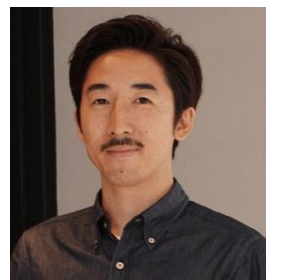
武邑 光裕 氏（メディア美学者、武邑塾塾長）

1954年東京都生まれ。1978年日本大学大学院芸術研究所修了。日本大学芸術学部、京都造形芸術大学、東京大学大学院、札幌市立大学で教授職を歴任。1980年代よりメディア論を講じ、VRからインターネットの黎明期、現代のソーシャルメディアからAIにいたるまで、デジタル社会環境を研究。2013年より武邑塾(<http://takemurajuku.com/ja/>)を主宰。著書『記憶のゆくたて—デジタル・アーカイブの文化経済』（東京大学出版会）で、第19回電気通信普及財団テレコム社会科学賞を受賞。2017年、Center for the Study of Digital Life(NYC)フェローに就任。現在、ベルリン在住。このほか近著に『さよならインターネット GDPR はネットとデータをどう変えるのか』（ダイヤモンド社）『ベルリン・都市・未来』（太田出版）がある。



日下 光 氏（blockhive OÜ Co-Founder）

1988年茨城県日立市生まれ。2012年デジタルガレージ主催のプレゼンテーション番組「TED meets NHK」で「評価経済システム」についてスピーチし、その実証実験を実施するため起業。2013年、Rippleを利用したプロジェクトに携わることをきっかけに、ビットコイン・ブロックチェーン技術と出会う。その後、国際送金ネットワーク「Stellar」を活用したシステムを開発するなど国内外の様々なブロックチェーン関連のプロジェクトの企画・開発に携わる。2017年、エストニアに拠点を移しblockhive OÜを設立。独自の資金調達モデルILPの開発やエストニア国営発電所でのマイニング事業などを展開。同国の電子国民プログラム「e-Residency」チームや、同国の仮想通貨「エストコインプロジェクト」の検討委員会、エストニアICO サンドボックス策定チームのメンバーも務める。



竹田 匡宏 氏(幻冬舎編集本部)

兵庫県西宮市出身、早稲田大学卒業。幻冬舎で「あたらしい経済」の編集者・記者。また個人活動としては「死ぬまで毎日ブログを書く」という約束のもとにブログ「たっけのメモ」を4年間運営。ラジオ番組「ミレニアル世代のアタマの中」のパーソナリティー。



【参考】

○billage OSAKA について

大阪の新たなイノベーションの生み出す拠点として、ヒト・モノ・カネ・情報が集まるコワーキングスペース・インキュベーション施設。起業相談窓口やイベントの実施等にて起業や資金調達のサポート、コミュニティ形成の支援を提供している。株式会社MJE が運営している。

所在地 大阪市中央区本町4-2-12 東芝大阪ビル8階

開設 2018年4月

URL <https://billage.space/>

○Neutrino について

ブロックチェーンのエコシステムを創造・醸成することを通じて、ブロックチェーン技術・アプリ・サービスの実用化を促進することをミッションとしているブロックチェーン特化のコワーキングスペース。エンジニアを中心として、法律・会計・マーケティング分野などの専門家が集まる有機的なコミュニティであり、海外のユースケースの紹介やエンジニア向けの技術リサーチミーティングなどのイベントを企画している。グローバル・ブレイン株式会社の協力のもと、OmiseGO が運営している。

所在地 東京都渋谷区桜丘町12-10 住友不動産渋谷インフォスアネックス1階

開設 2018年6月

URL <https://www.neutrino.global/japan/>

以上